

シンポジウム

希少な生物の保全のために

野生生物の輸入国、日本の責任——



野生生物が減少・絶滅する大きな要因のひとつに、無秩序な採取・乱獲と、その結果入手された野生生物の取引による影響が挙げられます。絶滅のおそれのある野生動植物の種の保全のため、国内的には「種の保存法」により、取引や捕獲の規制、生息・生育地の保護等が図られています。このシンポジウムでは、国際的に希少な種の保全に関する幅広い分野の専門家をお招きし、その保護のための制度や動物園における保全活動、正規に輸入された象牙の取引等について、具体的な事例を交えながらお話しいたします。また、パネルディスカッションでは、会場との質疑応答も予定しています。

希少野生動植物の保全・飼育に関心のある方ははじめ、多くの方々の御参加をお待ちしております。



■日時

2015年 **3月21日**(土・祝日)

13:30~17:00 (受付開始13:00)

■定員・参加費

100名程度

無料

(応募者多数の場合は、先着順)

■主催：環境省



■プログラム (予定)

13:00 受付

13:30 (5分) 開会の挨拶

環境省自然環境局野生生物課長 中島慶二

13:35 (30分)

希少種保全のための国際取引規制

東京女子大学教授、
ワシントン条約動物委員会アジア地域代表代理 石井信夫

14:05 (30分)



スローロリス等の霊長類を中心とした
希少種の密輸と飼育の現場から

日本モンキーセンター学術部社会普及室長 加藤章

14:35 (30分)

野生生物取引 日本と世界の動向

トラフィックイーストアジア ジャパン・プログラムオフィサー
松本智美

15:05 (10分)

休憩

15:15 (20分)

種の保存法 法律改正のポイント

環境省自然環境局野生生物課 取引監視専門官 尼子直輝

15:35 (30分)

象牙が輸入されてから製品として販売されるまで

東京象牙美術工芸協同組合 専務理事 鶴見剛

16:05 (10分)

休憩

16:15 (45分)

パネルディスカッション

「国際希少野生動植物種の保全と私達にできること」

ファシリテーター

岩手県立大学総合政策学部教授、
元ワシントン条約事務局員
金子与止男

パネリスト

石井信夫 松本智美 環境省
加藤章 鶴見剛

17:00

閉会

※プログラムは予定であり、変更される可能性があります。

会場

イオンコンパス東京八重洲

東京都中央区京橋1-1-6
越前屋ビル4階 (Room B+C)



申し込み
お問い合わせ先

参加希望の方は、下記宛てに、電子メールまたはFAXにてお申し込みください。
また、取材等のお申し込みにつきましても、下記までご連絡ください。
※参加申し込みの受付は、2015年3月19日(木)までとさせていただきます。

リトルスタジオインク株式会社 (担当 こみ くらもち 五味、倉持)

住所：〒150-0033 東京都渋谷区29-10 C-21

E-mail: yasei@happy-news.co.jp

FAX: 03-5784-2783

※電子メールの場合は、表題に「希少野生動植物に関するイベント」と明記してください。

電子メールでお申し込みの方については、①所属、②氏名(ふりがな)、③電話番号、④FAX番号、⑤電子メールアドレスを記載してください。

※本セミナーにお申込みいただいた方には、電子メールあるいはFAXにて受領確認を返信いたします。

FAXお申し込み用紙

FAX送信先：03-5784-2783

ふりがな	所属
氏名	電話番号
	FAX番号

電子メールアドレス

@